

やりやすい分かりやすい会計に向けて

- ・ 現在の問題

赤の徴収が不便

合宿会計の責任が大きい

社会人になると、合宿会計と接点がなくなりやすく、踏み倒される可能性がある

期限をあまり気にしない

複雑

各大でやり方が異なる

- ・ 目標

来年度から始める

赤はその大学の部会計が立て替え、部会計が本人に請求する

赤を部会計に立て替えてもらった時点で合宿会計の請求は終わる

部会計だと社会人になっても接点がありやすいので、請求しやすい

やりやすくし、撤収日に個人清算が出るようにする

ほとんど、もしくはすべてを定額制にする

共通のマニュアルを作る

明細などを作る

エクセルなどを使って会計をやりやすくする

- ・ 実施後予想されること

赤を払う相手が部会計なので、払う機会が多く、回収しやすい

会計の負担が減る

払うほうもいくら払うかわかりやすい

問題が出て、その都度マニュアルを更新すると、周知徹底不足で混乱しやすいので、更新は頻繁にしないように

定額制なので、赤または黒が出るが年度ごとに黒となればよい

黒の場合は積立金に貯金、赤は積立金を使う

積立金は自分たちのためになるものに使う（食器乾燥機、布団の丸洗いなど?）

会計という立場の悪用を予防できる

個人清算の例

(定額) × ○食 = ○○円

(定額) × ○泊 = ○○円

(定額) × ○発 = ○○円

・

・

・

合計○○○円（10円未満が発生しない?）→小銭を準備しやすい